多施設用

研究実施についてのお知らせ

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　平成30年5月14日

【研究課題名】

　2病院（沖縄県立中部病院と中頭病院）における血液培養のコンタミネーション発生率の比較検討。腎盂腎炎で治療した患者の血液培養で採取率・採取者・採取方法によりコンタミネーション率に差が認められるか。

【研究期間】

2018年4月から2019年3月

【研究対象】

　2017年4月1日から2018年3月31日に血液培養を採取された患者さんの中で腎盂腎炎と診断・治療された方。

【研究目的・意義】

血液培養は細菌感染症の重症度や治療期間を判定するのに欠かせない。血液培養を行うときにしばしば問題になるのがコンタミネーションの発生である。コンタミネーションを起こすと入院期間4.5日延長・抗菌薬療法の増加39%・医療費50万円増加が起こり、患者・医療者双方のデメリットとなる。

同じ地区にある急性期病院で血液培養の採取者・採取部位・採取方法などが全く異なる2病院がある。それぞれ院内の標準業務手順に沿って血液培養の検査を行っているが、本研究の目的はそれがコンタミネーション発生と血液培養採取の手技の違いに関連があるか検討することである。

コンタミネーション発生率の軽減を念頭に置いた。血液培養の方法の標準化に寄与する可能性がある。

【研究方法】

デザイン　観察研究、横断研究

沖縄県立中部病院及び中頭病院において研究代表者（辻）及び分担者（新里）がすでに治療を終了した患者の診療録を閲覧し研究に必要な患者背景、検査実施の状況、血液培養を含む必要な検査結果を収集し、血液培養におけるコンタミネーション発生率の比較検討を行う。研究代表者が取りまとめ、データ管理と解析は琉球大学大学院医学研究科　臨床研究教育管理センターで研究代表者とともに行う。結果から望ましい血液培養の採取方法・採取者・採取部位などの条件について検討を行う。

【研究に用いられる試料・情報の種類】

　情報：病歴、血液培養結果、治療歴、カルテ番号　等

　試料：なし

【外部への試料・情報の提供】

予定は特にありません。

【個人情報の取扱い】

IDごとに研究固有の番号を設け行います。

【研究組織】

沖縄県立中部病院

琉球大学大学院医学研究科　臨床研究教育管理講座

中頭病院

【本研究に関する問い合わせ先】

沖縄県立中部病院　診療科名：島医者養成コース　専修医2年目　担当者名：辻マリコ

沖縄県うるま市宮里281番地

TEL：098-973-4111 （代表）